

生まれ変わる病院・生まれ変わる医療

新公立刈田総合病院がオープンしました



▲4月21日に行われた落成式

新病院の目指す病院像

- 誰でもがいきたくなる病院
- 可能な限り高度な医療が提供できる病院
- 病院・診療所の連携を図れる病院



▲リハビリガーデン

福岡蔵本地区に建設が進められていた、白石市外二町組合の新公立刈田総合病院が完成し、五月三日に入院患者の皆さんが新病院へ移送され、五月七日、一般外来診療が開始されました。新病院は、広大な敷地に全く新しい形態と最新の情報システムを備え、最先端の診断治療機器、充実した医療スタッフ陣により、今まで以上に質の高い医療サービスが提供されます。また、新病院は「癒し」を重視した設計で、自然採光を取り入れたゆとりのある空間が、患者の皆さんの気持ちを和ませてくれます。

ゆとりのある癒しの空間

■敷地
五百六十六台収容の駐車場、リハビリガーデン、災害時用ヘリポートなどが配備されました。

■建物
建物各所には、自然の光や風、緑をふんだんに取り入れた癒しの環境が整備されました。また、免震工法を取り入れた災害に強い建物構造となっています。

■病室
緑のある中庭に面し、いっばいの光と十分な採光が得られ、眺望は抜群です。



▲中庭に面した病室

質の高い医療サービス

■診療科目・医師
脳神経外科、神経内科、心臓血管外科の三科が加わり、十七診療科となりました。医師も増員されています。

■医療機器
ほとんどが一新されました。MRIやCTなど、最新型の高性能機器が導入された放射線関係や、全自動化された臨床検査機器など、より迅速で正確な診断やデータ取得ができます。



▲中央検査室

■健診センター
人間ドックをはじめ、健康診断全般について環境が整えられ、一日あたり三十人以上の成人病検診が可能となります。

最新の情報システム

■院内オーダリングシステム
診察室で医師がコンピュータに検査や処方箋などのデータを入力することで、その情報が各部署へ速やかに伝達され、業務の効率化が図られます。



▲効率化された薬剤科

地域の開業医との連携強化

■地域医療連携室の設置
地域の開業医との連絡を密にし、紹介当日に患者の紹介内容が把握され、受診日時を予約するなど、スムーズに診察を受けられるようになります。



▲受け付けから支払いまで、外来診療はすべて1階で完結します。

○緊急用ヘリポート
災害時や緊急時への対処も万全です。



▲5月1日に行われた搬送訓練

○快適な教育環境



▲白石二小・白石中公立刈田総合病院分校も新病院に移転しました。

○病院へのアクセスが格段に向上



▲改良された県道南蔵王白石線(白石大橋～4号バイパス)

患者の皆さんの利便性向上をはかりました

新病院までの公共交通機関

■公立刈田総合病院シャトルバス
七時四十分始発で白石駅前バスターミナル・旧病院・新病院の三カ所の間を、約四十分～五十分間隔で往復運行されています。

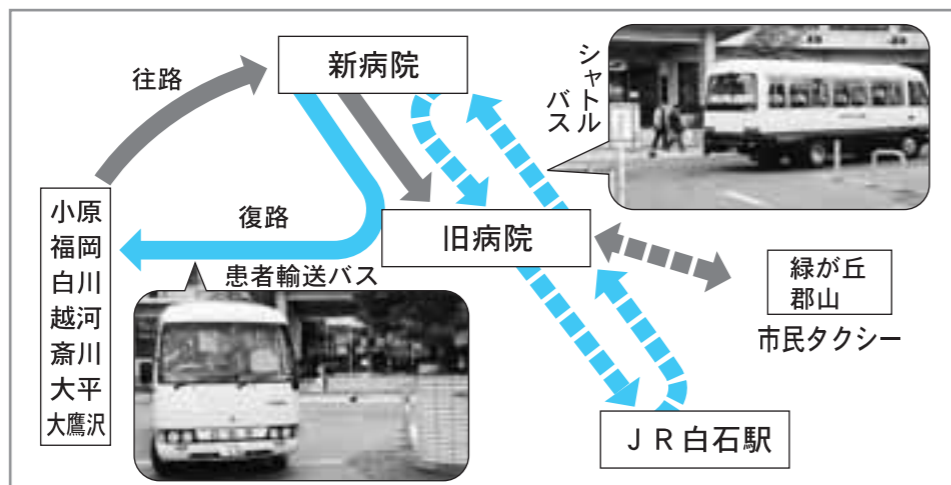
■市患者輸送バス
病院移転に伴い、従来の小原・福岡、白川方面に加え、新たに越河・斎川・大平方面と大鷹沢・大平(坂谷)方面へも患者輸送バスを運行しています。

■市民タクシー
「緑が丘線」、「郡山線」の二路線があります。経路は従来と同じで、各地区と旧病院の往復です。新病院へは、旧病院でシャトルバスに乗り換えていただくようになります。

★新病院と旧病院間は患者輸送バスとシャトルバスの両方が利用可能
診療が早く終わり、帰りの患者輸送バスの時刻まで時間があるときなど、先にシャトルバスで旧病院まで行き、帰りは旧病院から患者輸送バスで、といった便利な利用もできます。

市民タクシー

※患者輸送バス・市民タクシーご利用の方は、該当地区に配布された運行予定表や経路図をお確かめのうえ、ご乗車ください。



問い合わせ先

- 公立刈田総合病院シャトルバス
- 刈田総合病院庶務課 ☎25-2145
- 患者輸送バス市健康推進課 ☎22-1362
- 市民タクシー 市振興課 ☎22-1324